

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス Zoo安芸			
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 5 日		～	2025 年 11 月 29 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 5 日		～	2025 年 11 月 29 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025 年 2 月 1 日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校での生徒会のように「デイ会執行部」を子供たちの投票による選挙で選んでもらう。デイ会執行部では、みんなの「やってみたい」という想いを引き出して、実現に向けてみんなで話し合い、お友達と共感や協力、共有を持てることで達成感を得られるように取り組んでいる。	より多くの声を引き出すために、デイ会は月に3日間行い、デイ会ルール（話している人の方向に向く、人の意見は否定しないなど）を大切にしている。その中で、自分の思いの発信を増やし、周りに話を聞いてもらうことで自己肯定感を高めていけるように支援を行っている。	年1回の安芸祭りやお買い物レク以外の話し合いも、子どもたちの要望に合わせて行っていきたい。職員側から、これは実現できないと思っていても、話し合いの中でより良い折衷案が子供たちの話し合いの中で生み出されるのではないかな。
2	ポイント制を活用し、活動後に役割の分担、片付けや清掃の取り組みを行っている。	活動前にボードで役割の分担を確認して、「使ったら片付け」の習慣化を目指している。	最近では子どもたち自らボードを確認し、片付け、清掃の時間になると自主的に動いていけることが増えてきている。今後は習慣化を目指していく中で、丁寧さも身に付けていけるように工夫して取り組みたい。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会など、保護者同士で交流する機会を設けてほしいという声が聞かれる。	保護者の方の仕事で集まる機会が限られているのも要因として見られる。また、事業所単位で行うのか、会社単位で行うのかは今後の課題としていきたい。	保護者会の前に、3事業所合同の子どもたちの交流会を企画している。その流れから保護者の方の参加も含めて工夫、改善が必要と思われる。
2	事業所の建物の老朽化。	地域密着型の事業所という観点からも、将来的に移転するとしても近場が望ましい。	事業所の近くで送迎車両3～4台分を駐車するスペースの問題も含め検討中。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス Zoo安芸

公表日 2026 年 2 月 1 日

利用児童数

21

回収数

18

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2	1	2	少し狭いかなと思います。	活動ごとに部屋を変えるなど構造化を行い、工夫をして対応中
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	2	何名いるか分からないため	配置基準に沿っている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	1	1	0	構造化バリアフリーではないが、配慮や対応により怪我無く過ごせている。	トイレ内には手すりの設置をしていますが必要に応じて対応していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1	0	0	子どもたちと清掃の時間を設けられており、清潔にしていると思う。	個人の目標や特性に応じて役割分担しながら、整理整頓の意識が習慣化できるように清掃の時間を設けている。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0	感情的になってしまう親の気持ちも汲み取りながら、注意すべき事柄には本人の様子に合わせて声掛けや注意を促している。	子ども一人ひとりの特性に合った支援をPDCAサイクルで行う。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0	合致していると思います。	状況に合わせながら支援プログラムの修正も適時行う。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	家庭での問題点も考慮したうえで、事業所内（集団生活）で起こる課題に沿って作成されていると思う。	家庭連携を定期的にさせていただくことで、現状の課題などの把握、今後の取り組みを話し合っています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	2	0	1	計画書など息子の特性に応じた支援を計画されていると感じます。	日ごろの送迎時などで、保護者の方との会話の中にも、支援に繋がることがあれば計画等に盛り込んでいけるように取り組んでいます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		日々の申し送りに留意しながら、一人一人に合わせた支援を目指しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	0	0	新しい活動も取り入れつつ、安定・安心して遊べる固定化されたプログラムもあり良いと感じる。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3	2	7	他のクラブとの交流は本当にあったらいいなと思っています。	近隣の公園での活動時や町内清掃時に若干関わることを行っています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0	丁寧に説明していただきました。	日々の送迎の際にもデイでの様子をお伝えして連携を図っています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	6	3	4		市区町村からの情報は保護者の方に流しています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1	0	0	日常的に健康面や発達に理解してもらえて感謝しています。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3	0	0	スタッフの方が子育て中なのでとても相談しやすく安心しています。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0	息子の気持ちを考え、息子にアドバイスをいつもして頂いております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	6	7	「保護者会があればいいな」と以前から思っています。保護者交流は求めているです。現状で満足しています。	保護者会の要望はあるため、会社全体で検討中です。

	19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	2	0	1	相談や申し入れに特段の配慮、対応をしていただき、とても助かっている。	苦情、相談窓口は管理者が行うことにしており、その後の流れも定まっています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	1	0	0	・直接お会いしたり、LINE等で情報はいただいております。	本日中にお伝えしなければいけない事案などを、電話又はLINE等でお伝えしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	0	Zoo便りを楽しみに子供と一緒に振り返りながら拝見しています。 プリントやLINEで充分、予定や情報をいただいております。	インスタグラム、Zoo便りを通しての発信を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0		鍵のかかる場所にて保管を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	0	2	防災センターの活用などもあり訓練されている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	0	避難訓練をやったことを時折息子から聞いております。	毎月1回避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	3	事故時の説明は受けております。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1	0	0	大変安心しています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0	毎回楽しんでます。特に外出の日は楽しいようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0		
	30	事業所の対応に満足していますか。	17	1	0	0	家庭の予測不能な急な変更にもいつも対応してくださり本当に助かっています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス Zoo安芸		公表日		2026 年 2 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1日の利用者定員10名に対して、機能訓練室、相談室、デイルーム等のスペースがあり、基準を満たしている。	建物の老朽化に伴い、近くに移転場所を検討中。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		常時適切な職員を配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	○	ホワイトボードや絵カードを使用し、情報伝達を行う場面もある。	子ども一人ひとりの特性に合わせた支援員の作成を更に行っていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	○	活動後に毎日消毒を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		個別の部屋はいつでも使用できるように整備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○	○	児童発達管理責任者を中心に指導員が改善すべき課題を挙げ、話し合い業務改善に取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎年11月頃よりアンケートの配布を行い、集計してまとめている。対応策や改善点を職員間で話し合い、共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に1度のケア会議、普段の申し送りの場で意見を共有、把握している。	常勤とは日々行っているが非常勤とも話のできる時間の確保を今後更に確保をしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○		必要に応じて行う予定。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○	○	受講は積極的に働きかけており、機会の確保は整っている。	回覧などでの研修等の紹介のみなので、全員に周知できていない場合が見られるため改善を行う。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ、SNSにて公表し、誰もが確認できるようにしている。	修正等があれば随時発信をしていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者、子ども、双方のニーズを取り入れ、6か月、もしくは3か月ごとに計画作成・修正を行っている。	利用者本人やや保護者の意見を反映していきやすいように、定期的に家庭連携などで話を聞いて作成を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			作成する前に他職員にも話を聞き、方向性を確認したうえで計画の作成や修正・共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		記録ファイルに添付しておき、いつでも見られるようにしている。必要に応じて個別に伝え共有している。	具体的な支援内容まで周知徹底できるように連携を図っていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	○	個別記録を日々作成したうえで、支援の見直しを行っている。過去のものと比較も行い、再アセスメントをしている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	○	「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」に繋がりをつくり同じ方向性のねらいを持ちながら個々に応じた支援内容の設定を行っている。	分かりづらい支援内容があった場合にはかみ砕いて説明を行い、全職員が理解して支援が出来るようにしていく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ケア会議などで計画に沿ったものなのか、皆で検討しながら組み立てている。	支援プログラムや支援内容に繋がるものを常に探していく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラム担当を分担し、いろんな視点から作成するようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		優先順位の高い目標に対しては達成に向けて個別支援を取り入れるようにし、支援を行うようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		申し送り表を作り口頭で伝えるとともに、いつでも見返せるように掲示している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の振り返りを個別記録を見たり話をしながら共有を行い、次につながる支援を考えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個別記録の評価を基に支援内容の見直しを行っており、支援内容の改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なものに限らず、必要に応じて家族連携を行ったり担当者会議を行うことで見直しを図っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○	○	「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流」「子どもが主体的に参画できる活動」を日々複数組み合わせさせて支援をしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		選択肢を与えることで自分で選んだものを達成していけるような支援を取り入れている。デイ会を行い、子どもが選べることを増やすことで自己決定までの道筋を立てられるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			管理者兼児童発達支援管理責任者のみではなく常勤職員が参加できるようにしていきたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	○	サポートブックや契約時において、利用者の主治医、利用福祉機関を把握できるようにしている。	定期的に家庭連携等で変更などないか確認していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校情報の共有は保護者を通じて行うか送迎時に行うようにしている。連絡調整は臨機応変に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	○	デイサービス利用開始までに保護者より事前に話を聞いて情報共有をさせてもらっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	○		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	○	近隣の公園等での活動の際には交流促進を図っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	○	極力参加できるようにしていく。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	○	送迎時、家族連携を通じて情報共有を行うようにすることで共通理解をできるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	○	市からの案内の提示は行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		1つずつ説明を行い、理解が出来るようにここにに応じて説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		計画作成前にニーズの確認を行い、オーダーメイドとしての支援をできるように確認を行えるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	○	事前に提示して内容をみてもらうこともあり、不明点も含め確認と説明をして保護者が確実に理解をして同意を得られるようにしている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	○	子どもの様子や送迎時の保護者の様子を見て必要だと感じた場合は事業所から声をかけることも多い。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	○		保護者の意向も多いため検討中。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	○	苦情が発生した場合には迅速に対応し、全職員に改善策を周知、保護者への対応をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		月に数回のInstagramでの発信、HPにてZoo便りの公開も行っている。	Instagramを見てくれる保護者が多いため更新頻度を上げていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護に関する取り決めの内容に沿い、情報漏洩がないように鍵付きの棚、部屋にて管理している。守秘義務に関しても留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	○	本人の特性に合わせたツールを使い、意思疎通を図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	○		現在は取り組みをしていないが将来的には近隣の人達との関りをこちからも発信していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	○	定期的を実施を行っている。	契約時に説明を行い、周知の徹底を図る。すでに利用されている場合はSNS等での発信を伝えていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的を実施を行っている。	契約時に説明を行い、周知の徹底を図る。すでに利用されている場合はSNS等での発信を伝えていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		利用前にサポートブックの記入をお願いし、利用前に確認するようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	○	保護者（医師の指示に基づく）から利用にあたって留意事項として提出していただき、きになることは随時確認をするようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	○	毎日、安全管理に関わる項目をチェックしている。	安全計画の共有を年度初めに行っているが、毎月確認できるように検討したい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		入力は即日行い、会社内で共有できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に虐待防止の研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、身体拘束を要する利用者はいないがそのような場合は保護者へ説明、了承を得てから適切に対応を行っている。	